

2023 5/23

No.2187

毎月第2・第4火曜日発行

# 政経 かながわ

一般社団法人  
— 神奈川政経懇話会 —



「海の女王」と呼ばれる客船「クイーン・エリザベス」が4月、4年ぶりに横浜港に入港。運航するキュナード・ラインの横浜寄港100周年を祝った。MSCベリッシマなど大型客船の入港相次ぐ。



## contents

視点点描 3  
コロナ後も変わらぬ景色

講演録 4  
シンポジウム「<sup>のれん</sup>暖簾をつなぐ」  
パネリスト

横浜岡田屋社長	岡田 伸浩
天吉社長	原 茂男
泉橋酒造社長	橋場 友一
コーディネーター	
神奈川新聞社総務局長	渋谷 文彦

特集 10  
近づく衆院選の足音  
サミット閉幕後 各党臨戦態勢へ

経済双眼鏡 14  
「安倍晋三 回顧録」の`真実、  
外交は秘話満載、経済は自己正当化

サヘル・ローズ×リアルワールド 15  
「神」がずっと不在の旅路だった

かながわTODAY 16  
4月の主な経済ニュース

神奈川景気データファイル 18

### 事務局だより

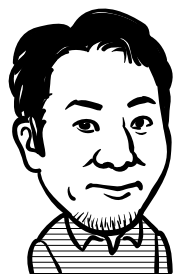
◇2023年6月の講演会  
6月29日(木)午後1時30分～3時00分  
メルヴェーユ「ヴァランセ」(県民共済プラザビル)  
講師：横浜市立大学学長 相原 道子氏  
演題：「地域中核・特色ある研究大学を目指して」

◇2023年7月の講演会  
7月12日(水)午後4時～5時  
ロイヤルホールヨコハマ(横浜市中区山下町)  
講師：神奈川県知事 黒岩 祐治氏  
演題：未定  
※講演後、当会の会員交流会を開催予定。

【新規会員】(23年5月16日現在)  
・MedVigilance株式会社 (23年5月)  
・日本生命保険相互会社 (23年5月)

【お知らせ】2022年度決算総会を6月5日(月)午後2時から神奈川新聞社12階大会議室で開催します。

# 視点 点描



## コロナ後も変わらぬ景色

新型コロナウイルス感染症の分類引き下げから2週間余り。「新しい日常」が「当たり前の日常」に変わり、定着した感染対策が過去の生活習慣になりつつある。繁華街や行楽地は混雑し、電車内でマスクを外しても刺さるような視線は感じなくなった。個人の判断を尊重する意識が浸透し、元の社会にも多様化の流れが広が

り始めているのかもしれない。振り返れば、経験したことのない混乱と先の見えない不安に揺れた3年間だった。「ステイホーム」の掛け声で外出自粛を余儀なくされ、「三密回避」の徹底で人と人の距離も広げざるを得なかった。深刻なマスク不足やワクチン争奪戦に陥り、感染者や医療従事者に対する卑劣な差別もあった。臨

時休校や時短営業など数々の我慢を強いられ、価値観や消費行動、働き方は大きく変わった。いまの社会を見渡してみると、激変した風景がある一方、ほとんど変わらない景色もあることに気づく。「政治の現場」である。永田町の風景は依然として「自民1強」の色合いが濃い。安倍、菅政権の終幕で官邸1強体制は終わったものの、岸田首相で臨んだ国政選と統一地方選はどれも自民党が勝者となった。4月の衆参補欠選挙で全敗した立憲民主党や地方選で1割の議席を失った共産党は弱体化が際立ち、過去最多の12人が落選した公明党も集票力に陰りが見えた。日本維新の会は「躍進」との見方もあるが、神奈川をはじめ全国で安定した戦いを繰り広げたのは、やはり自民だった。野党共闘は相変わらず空転し、岸田内閣の

支持率は上昇に転じている。かつてもはやされた「黄金の3年間」は、忘れ去られたのか。いま、衆院解散を問う声がかまびすしい。G7広島サミットで外交成果をアピールした後、防衛費や少子化対策を巡る増税批判が噴出する前…など、夏から秋を軸にさまざまな臆測が飛び交う。年内の解散に向けてお膳立ては整っているかのように映るが、大義もないまま伝家の宝刀を抜けば、有権者に党利党略だと見透かされる。神奈川など区割り変更があった選挙区では公認候補選びも難航している。グラデーシヨンのように変わっていく日常とは対照的に、解散のタイミングを誤れば国会の勢力図は一夜にして激変する。首相への視線は熱を帯びるばかりだ。

(神奈川新聞社報道部長

香川 直幹)